



◎読書 “行く年来る年”

いよいよ令和5年も残すところあとわずかとなりました。皆さんにとって今年1年はどんな年だったでしょうか？心に残る本と出会えましたか？もし、出会えていなかったら、来月発表される「本屋大賞ノミネート作品」に期待しましょう。楽しみです。

楽しみといえば、私は先月1冊の本を完成させました。タイトルは「東北『道の駅』2022 スタンプラリー」というスタンプブックです。2年かけて170駅を巡りました。その途中、だんだん紀行文を読んでみたくなりました。行動（体験）と読書はリンクするんですね。皆さんも、今やっていることや以前やっていたことに関連した本を手にしたら、興味が湧くのではないのでしょうか？来年はそういうことも念頭に選書していきたいと思いますので、来館よろしくをお願いします。

◎ビブリオバトルに参加しました



今月2日（土）に、名取市にある県総合教育センターにおいて「2023 高等学校ビブリオバトル宮城県大会」が開催されました。県内から12名が参戦し、本校からは3年情報処理科の、佐藤晃斗さんがエントリーしました（今年で3年連続出場を果たしてくれました）。

開会後にくじ引きで発表順を決めるというスリリング感や、5分間という持ち時間をフルに使って発表するライブ感に、たちまち引き込まれました。

佐藤さんは残念ながら決勝進出とはなりませんでしたが、校内でのリハーサルでアドバイスされたことを活かし、ある高校の吹奏楽部を舞台にした「風を恋う」（額賀濤著）という本について、熱のこもった発表をしてくれました。

ちなみに、佐藤さんも中学校の時、吹奏楽部だったのでこの本を選んだとのことでした。改めて行動（体験）と読書はリンクしやすいと実感させられました。

チャンプ本は、「小説の小説」という本で、県代表として来月の全国大会に出場します。

その他紹介された本については、次号で紹介しますので楽しみに！



◎冬休み中の図書館について



いよいよ12月25日（月）から、学校は冬季休業に入ります。図書館もそれに合わせて休館となります。そのため、今回も貸出冊数に上限を設けませんので、この機会にたくさん借りて、じっくり読書を楽しんでください。また、返却の場合は、新聞コーナーに設置している、赤い返却ボックスに入れてください。

それでは皆さん、少々早いですが、良いお年をお迎えください。

＼（^v^）／